

一般社団法人 栃木県作業療法士会
令和 5 年度 理事会議事録 (第 6 回)

開催日時：2024 年 3 月 27 日 (水) 19:02 ~ 20:52

開催場所：宇都宮市茂原一丁目 1021 番地 7 (ZOOM 配信)

出席理事：仲田、坂田、岩瀬、渡邊、山口、横山、久米、高村、須藤 (智)、和久井、玉野、有馬、信末、板倉、上岡、野尻、野崎、染谷、寺尾、須藤 (誠)

全理事 20 名中、20 名出席 (全員ウェブ会議システムによる出席)

出席監事：なし (全員ウェブ会議システムによる出席)

欠席：なし

陪席：なし

順不同、敬称略

議案

会長挨拶

本日の理事会はウェブ会議システム (ZOOM) を利用して行う旨を述べ、双方が画像、音声を確認したところ異常がなく、出席理事数が定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

I. 報告事項

【会長】

1) 会長職務執行状況報告について (2023 年 12 月~2024 年 3 月)

- 栃木刑務所職員との面談 (12/7、2/22)
- POS 士会長会議 (1/5、2/4)
- 栃木 JRAT 会議・災害支援報告会 (1/9、1/15、1/30、2/20、3/7)
- 常設委員会災害リハビリテーション対策委員会 (1/17)
- 各都道府県士会と協会の意見交換会 (1/29)
- 学術局研修会拡大会議 (2/6)
- 第 8 回北関東信越ブロック学会・第 13 回栃木県作業療法学会挨拶 (2/25)
- 第 4 回協会長・都道府県士会長会議 (3/9)
- 国際医療福祉大学学位授与式出席 (3/11)

2) 組織力強化を目指す各都道府県士会と協会の役員意見交換会について

1/29 19:00~20:20 士会役職者 (会長・副会長) 6 名出席

別紙資料

3) 第 4 回協会長・都道府県士会長会議について

今年度は終了 次年度も 4 回開催予定

議事録配信済み

4) 能登半島地震の支援金の件について

士会員の会費から 1 人当たり 100 円を支援させていただいた。822 名分×100 円=82,200 円

5) 栃木刑務所について

令和 6 年度も士会からは 2 名の派遣。現在の派遣者 2 名が継続更新。

6) 第 1 回栃木県リハビリテーション学術大会について

P T、S T、O T 3 士会合同での学会を令和 7 年度に開催する。

学術大会総予算 250 万円 (O T 士会からは 2 年間で 83 万円拠出予定)

第 15 回県学会と同時開催とするため、基本的には県南ブロックで対応いただく

準備委員会立ち上げは新年度 7 月

* 詳細は第 3 回三役会議資料

7) 「協会員=士会員」実現のための方策と工程表 (修正案) について

協会から表記の件で同意可否の回答を求められたため、三役審議の上「同意」で返答した

参考資料：日本作業療法士協会誌 2024 年 2 月号 P2~10

【副会長】

- 8) 第 30 回 栃木県脳卒中・心血管疾患対策協議会について
書面開催（3月8日意見提出締め切り）
栃木県循環器病対策推進計画（2期計画）最終案について、承認し、意見を提出した。
- 9) 第 6 回 栃木リハビリテーション専門職協会理事会について
2024年2月28日 19:00～ Web 開催
【審議事項】 審議 1 （一社）栃木県リハ専門職協会 25 市町連絡網・組織図
審議 2 理事会開始時間変更
審議 3 ウインドブレーカーまたはピブス作成
審議 4 令和 6(2024)年度予算案・事業計画案の修正、および体系科目変更について
【報告事項】 報告 1 文書管理（2023 年度の文書管理報告）
報告 2 令和 5 年度第 4 回 栃木県在宅医療推進協議会
報告 3 第 28 回在宅ケアネットワーク栃木・第 2 回在宅医療推進フォーラム in 栃木
報告 4 2023 年度訪問リハビリテーション実務者研修会
報告 5 令和 5 年度 地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダーブラッシュアップ
研修会
報告 6 令和 6 年能登半島地震における栃木県リハビリ専門職協会災害支援活動報告
審議 4 の結果、令和 6(2024)年度予算案・事業計画案は別紙参照

事務局

- 10) 令和 5 年度会計監査について
日時：令和 6 年 4 月 26 日 予定
- 11) 令和 6 年度理事会開催日程について（別紙）
- 12) 令和 6 年度定期総会について
日時：令和 6 年 6 月 16 日（日） 於 ロマンチック村 ヴィラ・デ・アグリ
議案書発送：令和 6 年 5 月 17 日 必着
議決権行使書・委任状返送期日：令和 6 年 5 月 31 日
- 13) 令和 6 年度会計マニュアルについて
R6 年度の出納担当者には 3 月中に会計書式一式をメール配信する予定。
- 14) 事務局メールアドレスの変更について
令和 6 年度よりメールアドレスを下記のとおり変更する。
kw584242@kc4.so-net.ne.jp

【会員管理部】

- 15) 会員管理および会費納入状況について（3月21日時点の情報）
- ・会員数：816名
 - 入会届未提出：3名 協会員だが士会非加入者：210名 士会員だが協会非加入者：14名
 - 入会者：57名（新規50名、再入会7名） 退会者：18名 強制退会者：25名→3名再入会
 - 会費納入：令和元年度分 1名（5,000円）
令和2年度分 1名（8,000円）
令和4年度分 3名（24,000円）
令和5年度分 755名（6,040,000円）
令和6年度分 2名（16,000円）
 - 領収証（3月21日時点）：757名分発行
 - ・現在の会費納入率93%。未納者46名

16) 会費納入依頼について

2月にHPへ掲載、1月末日までに未納だった150名に対し、2月13日に督促状を送付。

17) 月ごとの会員情報について（※2月まで）

月ごとの会員数、入会者数、退会者数、年会費納入人数は以下の通り。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 会員数 | 769 | 779 | 792 | 795 | 805 | 813 | 817 | 820 | 818 | 821 | 820 |
| 入会 | 5 | 8 | 11 | 3 | 10 | 2 | 6 | 3 | 1 | 8 | 2 |
| 退会 | 5 | 28 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 | 2 |
| 会費納入 | 16 | 97 | 124 | 86 | 51 | 50 | 46 | 11 | 67 | 91 | 69 |

昨年度は12月以降の新規入会は0だったが、今年度は11名。入会、年会費納入とも昨年度よりペースが遅かった。

18) 退会理由について

現在まで退会者25名。内訳は県外異動11名、家庭の都合7名、転職・退職4名、研修会に参加していない2名、体調不良1名。

19) 休会について

令和5年度休会が15名、令和6年度休会申請12名。現在休会中の15名中13名は令和6年度から自動復会となる。

【財務部】

20) 第4クール会計書類について

3/15会計事務所へ発送済、1月～3月源泉税納付済

【福利部】

21) 研修・オリエンテーション開催報告について

タイトル：第2回研修&オリエンテーション

日時：令和6年1月12日（金）19:00～20:30 オンラインにて開催

内容：研修「患者さんとの上手なコミュニケーション術」 担当：信末

オリエンテーション「あんな研修 こんな研修 魅力あふれる研修会

～士会の研修会を知って参加しよう～」 担当：渡邊 学術局長

参加数：3名（内訳：卒後1年目：1名、2年目：1名、3年目：1名）

欠席者：1名（申込者：計4名）

22) 作業療法学生に対する県士会啓蒙・啓発ポスターについて

- ・国際医療福祉大学、マロニエ医療福祉専門学校の両校に、ポスター掲示と学生（4年生）に対してチラシ配布を依頼。
- ・第8回北関東信越ブロック学会・第13回栃木県作業療法学会にてポスター掲示とチラシ配布を依頼。

社会局

【事業部】

- 23) 委託事業部門の活動報告について
3/6(水) 栃木産業保健総合支援センターへ挨拶、情報交換(先方対応者: 冨永副所長、高橋氏)
県内における産業リハに関する事業の情報収集、今後の協力(士会員へ情報発信)を話す。
- 24) 作業療法啓発推進部門の活動報告について
1/19(金) 地域活動支援部へ OT 協会パンフレット譲渡。
2/25(日) 第 8 回北関東信越ブロック学会・第 13 回栃木県作業療法学会中高生向け OT 体験会へ
協力。
3/19(金) 第 21 回那須フロンティアフォーラムにて OT 協会のパンフレットを配布。
- 25) 障害者スポーツ推進部門の活動報告について
3/2(土) とちぎ障がい者スポーツ地域連絡協議会(発足会議)へ出席。
3/19(火) 佐賀県 OT 士会へ全国障害者スポーツ大会コンディショニンググループ研修の講師対応。

【制度対策部】

- 26) 保険・福祉部門の活動報告について
OT 協会主催の介護報酬改定説明会 3/16(土) 1 名参加。診療報酬改定説明会 3/19(土) 1 名参加。HP での情報提供予定。
- 27) 自動車運転支援検討委員会の活動報告について
・自動車運転支援に関する情報交換会 2/9(金) 19:00~
新宇都宮リハビリテーション病院とオンラインでのハイブリット形式での実施。
28 名参加。免許センターや自動車教習所協会の職員にも参加いただき情報交換を実施した。
・第 3 回会議 2/14 18:30~20:00 オンラインで実施 6 名参加。
- 28) スクール OT 推進検討委員会の活動報告について
・協会との意見交換会 1/27 13:30~16:00 オンライン開催 3 名参加
別紙資料
・第 4 回会議 3/13(水) 18:00~19:15 オンライン開催 6 名参加

広報局

【広報部】

- 29) 広報活動について
・「栃の実 No.109」を 2 月 15 日発行
・リーフレット作成に向けて検討中

【ウェブサイト管理運営部】

- 30) ホームページについて
・ホームページの更新を随時実施
・ホームページのリニューアルに向けて検討中
・公式 SNS の開設ならびに運営管理について検討中
・電子データの収集、管理方法を検討中

学術局

【教育部】

- 31) 研修会開催報告について
・第 5 回現職者共通研修会: 事例検討報告会(第 2 回事例検討報告会)
令和 6 年 1 月 31 日(水)
参加者: 11 名
・学生指導、後輩育成研修会

令和6年1月20日(土)
講師：岡田岳氏(マロニエ医療福祉専門学校)
参加者：16名

- 現職者選択研修：老年期障害領域
令和6年1月21日(日)
講師：関優樹氏(国際医療福祉大学)
染谷祐司氏(倉持整形外科・内科)
佐々木由佳氏(にしなすの総合在宅ケアセンター)
久米真菜美氏(尾形医院)
参加者：5名

32) 令和6年度の研修会開催予定について

- 令和6年度臨床実習指導者講習会
開催日：令和6年8月10日(土)・11日(日)
開催方法：Zoom ミーティング
定員：60名
※次年度より栃木県士会員が優先的に参加できるよう募集期間を分けて対応する

【研修部】

33) 研修開催報告について

- 第2回 精神障害分野研修会：「精神科作業療法士としてのキャリアデザインの再考」
開催日：令和5年12月15日(金)
オンデマンド配信期間：令和6年1月4日～令和6年1月18日
講師：柁木 健介氏(医療法人朝日会 朝日病院 作業療法士)
秋吉 孝裕氏(一般社団法人てとて リンクよこはま訪問看護ステーション 作業療法士)
田村 勇樹氏(マロニエ医療福祉専門学校 作業療法士)
参加者：18名
- 第2回 老年期障害分野研修会：「患者・利用者の本当の想いの引き出し方」
開催日：令和6年1月24日(水)
講師：友利 幸之介氏(東京工科大学作業療法学科 作業療法士)
参加者：18名
- 第2回 研修会企画運営部門研修会：「これからの作業療法士のキャリアデザインの考え方」
開催日：令和5年12月17日(日)
オンデマンド配信期間：令和5年12月18日～令和5年12月30日
講師：大郷 和成氏(NPO法人 laul e' a 副理事長 遊びリパークリノア 施設長 作業療法士)
参加者：21名
- 第3回 研修会企画運営部門研修会：「地域関連研修」
開催日：令和6年1月26日(金)
講師：鈴木 啓太氏(だいなりハビリクリニック 作業療法士)
参加者：19名

34) 会議について

- 研修会拡大会議
開催日：令和6年2月6日(火)

【学術部】

35) 第8回北関東信越ブロック学会・第13回栃木県作業療法学会の開催報告について

令和6年2月25日(国際医療福祉大学)開催。学会テーマ「人と地域のチカラを引き出す作業療法」
本学会では、栃木県士会として初めて、地域の中高校生対象の作業療法士体験も同時開催した。
学会には178名、中高生体験には21名の参加登録があった。
第14回栃木県作業療法学会実行委員会への引継ぎについては日程調整中。

36) 第14回栃木県作業療法学会について

・実行委員・役割

| 役割 | 氏名 | 所属 | 領域 | 会員番号 |
|-------|------|--------------------|-----|-------|
| 学会長 | 渡邊真一 | 白澤病院 | 老年期 | 32906 |
| 実行委員長 | 染谷祐司 | 倉持整形外科・内科 | 身障 | 37551 |
| 事務局 | 大島拓也 | 白澤病院 | 老年期 | 75163 |
| 事務局 | 寺尾博幸 | 新上三川病院 | 身障 | 75176 |
| 事務局 | 柘植泰成 | 新上三川病院 | 身障 | 88640 |
| 広報部 | 飯島寛之 | 新宇都宮リハビリテーション病院 | 身障 | 45476 |
| 広報部 | 清山綾己 | 新宇都宮リハビリテーション病院 | 身障 | 93588 |
| 学術部 | 齋藤尚子 | JCHO うつのみや病院 | 身障 | 53242 |
| 学術部 | 塩澤潤也 | JCHO うつのみや病院 | 身障 | 40507 |
| 運営部 | 狩野泰宏 | 栃木県立リハビリテーションセンター | 身障 | 79717 |
| 運営部 | 八木瑞季 | 栃木県立リハビリテーションセンター | 身障 | 80754 |
| OBS | 高村直裕 | 県士会学術部理事（国際医療福祉大学） | | |

・第1回運営会議開催：1月23日（火）

・第2回運営会議開催：2月27日（火）

地域局

【地域共生社会推進部】

37) 会議について

- ・日本作業療法士協会地域社会振興部認知症ケア対策班主催 士会における認知症への取り組みをする担当者同士の情報交換会（1/20）参加者：5名（選任者3名、聴講2名）添付資料参照
- ・訪問通所リハビリテーション推進部門第三回会議（1/26）

38) 相談会について

- ・障害福祉オンライン第二回相談会（1/13）参加者：6名（OT5名、相談支援専門員1名）

【地域活動支援部】

39) 会議について

- ・臨時 第三回県南エリア会議(12/20)
- ・25市町全体会議(1/23)
- ・臨時 第三回県北エリア会議(2/8)
- ・日本作業療法士協会 第三回地域事業支援会議(3/3)
- ・日本作業療法士協会 第四回Bブロック会議(3/12)

40) 他職種連携交流会について

- ・県央エリア(12/13)
ZOOM、芳賀町地域包括支援センター保健師による話題提供とグループワーク
参加者：13名（OT12名、講師1名）
- ・県南エリア(1/19)
対面、足利市包括支援センター保健師による話題提供と料理のワークショップ
参加者：12名(部員除く)

その他

41) 栃木刑務所地域連携事業報告書について

別紙参照

42) 第24回とちぎリハビリテーションフォーラムについて

別紙「開催要項」「ポスター」参照
2024年5月26日(日)13~16時 とちぎ健康の森
「発達が気になるお子さんの就学に向けて～医療・教育・行政がそれぞれの立場で考えていること」
3/23(土)チラシ発送済(会員、県内保育園・教育委員会・特別支援学校等)
4月以降士会HPにも掲載し参加者を募る

II. 決議事項

- 1) 第1回栃木県リハビリテーション学術大会・第15回栃木県作業療法学会について
①第15回県学会の学会長(兼第1回栃木県リハビリテーション学術大会副準備委員長)を理事の須藤智宏氏を推薦することに、ご承認願いたい。
→承認。
②準備委員として、運営局(会場都合により自治医大OTから1名)、広報局(1名)・学術局(1名)を県南ブロックより推薦することについてもご承認願いたい。
→承認。
- 2) 県士会『創立50周年記念事業経費』の積み立てについて
2031年の50周年に向けて、記念事業に備えた準備金の積み立てを開始することに、ご承認願いたい。(2024年度~2031年度まで8年間×30万=240万円)
→承認。
- 3) 『理事会審議概要書』の導入について
三役会議にて理事会の進め方・あり方について提案し、審議を行った。
理事会での決議を効率的に進めるために、新年度より理事会審議概要書(別紙)の導入について、ご承認いただきたい。
→承認。

III. 審議事項

【会長】

- 1) 「協会員=士会員」実現に向けての当士会の今後の工程について
「協会員=士会員」の実現に向けて、栃木県士会における工程表を別紙に示す。
協会員=士会員に移行する2027年度からは、協会費・士会費は前年度末までの前納なることを踏まえ、栃木県士会では2026年度より士会費前納を開始したい。同時に定款施行規則も一部改正する(別紙)。
理由：①会員へ「協会員=士会員」移行に向けた準備を呼びかけるため
②早期に2026年度以前の会費未納者を洗い出し、両会に所属することを促すため
→今後、検討継続
- 2) 士会共通の連絡網整備について
災害時の安否確認、被害状況確認での活用を考えているが、選挙時の利活用も考えている。
3士会で連絡網作成のためのWGを作り、活動開始を新年度7月以降に計画している。
OT士会からは総務部および災害リハビリテーション対策委員会から人選したいと思うが、いかがか。
→総務部より寺尾理事を推薦。災害リハビリテーション対策委員会の熊倉氏に打診していく。
他メンバーに関しては今後検討。

事務局

- 3) 令和6年度予算案について(別紙)
令和6年度 収入 7,612,500円 支出 8,260,700円 収支差 -648,200円

→承認

- 4) 令和 6 年度定期総会議案について
第 1 号議案 令和五年度事業報告の件
第 2 号議案 令和五年度収支報告の件
第 3 号議案 令和六年度事業計画（案）の件
第 4 号議案 令和六年度収支予算（案）の件
→承認

- 5) 会計規定の一部改定について（別紙）

第 23 条（予算の流用）

当初予算における部門内の各科目間の予算流用においては、管轄の局長に一任する。但し、予算流用した場合は事務局長及び財務部に科目増減の報告を義務とする。原則として、~~予算の執行にあたり、各科目間において相互に流用しないこととする。やむを得ない場合に限り、事務局長の承認を得て中科目間または少科目間の予算の流用をすることができる。~~

第 26 条（収支予算の補正）

会長もしくは各局長は、やむを得ない理由により、収支予算の補正を必要とするときは、補正予算を編成し、理事会にて過半数の承認を得なければならない。

→承認

- 6) 来年度からの理事会の運営について

効率的に理事会を運営していくため、令和 6 年 4 月 1 日より審議の方法を下記のとおり変更したい。

- 1) 審議上程者が審議概要書（別紙）を記載し、理事会開催 10 日前（17 時）までに総務部に提出する提出期限を過ぎたものは次回理事会での審議とする
- 2) 総務部は提出された審議概要書（含、資料等）を理事会開催 7 日前（17 時）までに審議順番に取り纏め、回答のための Google form の URL を理事へ配信する
- 3) Google Drive 内の理事会議事への「報告事項」の書き込みは 5 日前までに済ませる
- 4) 理事会出席前に、理事は Google Drive 内の議事「報告事項」を確認、および事務局から配信された審議概要書等も読み込む。理事会当日の 12 時まで全理事（出欠問わない）が Google form より審議事項の全てに対して、賛成・反対・回答保留のいずれかを返答する。
- 5) 理事会では報告事項は記載内容を前提とし、質疑応答にて対応。
審議事項は、審議概要書内容について質疑応答を行い、その後、審議結果を理事会の場で決議する。
- 6) 審議上程者は理事会議事録に審議内容と結果を簡潔に記載する。併せて、審議概要書の審議結果も記載する。議事録完成の最終期限は理事会開催日から 3 週間後とし、総務部にて最終確認後に PDF 形式で Google Drive 内の理事会議事録にアップロードする。

→承認

【総務部】

- 7) 後援名義について

第 3 2 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会栃木大会

→承認。

【会員管理部】

- 8) 令和 6 年度休会申請者について

1 月 31 日で申し込みを締め切り、12 名の申請があった（内訳：出産 8 名、育児 2 名、子の看護 1 名、病気療 養 1 名）。本理事会の承認を以て、令和 7 年 3 月 31 日までの休会を確定して良いか。

→承認

【福利部】

- 9) (株) gene 発行「県士会向けリハノメクーポン」について（別紙参照）

先方より当士会宛ての案内メールがあり、福利部で対応した。以下、内容。

| | | |
|-----------|---|------------------------|
| 対 象 | 新卒（新入会者）向け | 士会員向け |
| 内 容 | 1ヶ月無料クーポンの発行 | 全プラン永久 20% off クーポンの発行 |
| 県士会への提供方法 | クーポンコードが記載されたリーフレット(PDF)による配布 | クーポンコードの発行 |
| 利用方法 | クーポンコードの入力 | |
| 士会員への連絡方法 | 先方からの例 <ul style="list-style-type: none"> ・士会 HP 内、会員様専用ページ（もしくはマイページ）への掲載 ・会員向け案内（メルマガ、会報誌）への掲載 ・その他の個別連絡 ※会員様向けのクーポンになりますので、士会 HP 内に掲載いただける場合は必ず会員様専用のページへの掲載にさせていただきますよう、お願い申し上げます。 | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・クーポン発行に伴う費用なし。 ・リハノメクーポン導入後、リハノメ WEB サイト内に「会員割引がある都道府県士会一覧」に県士会名・県士会ホームページへのリンクが掲載される予定。 | |

- ・福利部としては会員への福利厚生の一環として、導入はありかと考える。また、栃木県士会の場合は、ホームページ上や会報誌等での掲載ではなく、メール等にてクーポン発行手続き（個別対応）の方が管理上、良いと考える。クーポン発行等の事務手続きは、福利部が担当窓口となる。以上、よろしいか。

→承認。士会員向けの案内をホームページ等での掲載・周知していく。

10) 新入会員歓迎イベントについて

これまでの新入会員歓迎会に代わる歓迎イベントを企画・検討した。

以下、企画概要案となる。

タイトル：「先輩 OT に学ぼう！ 新人 OT 座談会」

対 象：栃木県内に勤務する卒後 1～5 年目の作業療法士（県士会入会の有無は問わない）

参加費：無料

場 所：検討中。

対面形式で地区ごとに計 3 会場で開催。

① 県北地区……会場候補地：国際医療福祉大学？

② 県央地区……会場候補地：新上三川病院？

③ 県南地区……会場候補地：マロニエ医療福祉専門学校？

日 時：2024 年 7～9 月頃を予定。

各地区別日とし、可能ならば 1 月に 1 回開催。

時間は、平日の 19:00～20:30（1 時間 30 分）を予定。

内 容：① 先輩 OT の自己紹介（3 名×5～10 分程度）

② 先輩 OT から参加者への質問タイム

③ 参加者から先輩 OT への質問タイム

④ 県士会に関するオリエンテーション

※ 昨年開催したオリエンテーション(OT 協会について・県士会について・県士会開催の研修会について)を各会場に割り振り。

⑤ 自由交流・歓談

計 1 時間 30 分を想定。

先輩 OT：各会場 3 名程度（+仲田会長・坂田事務局長・渡邊学術局長）を想定。

可能であれば、各地区の理事から積極的・優先的にお願いできれば…。

（座談会としての開催のため、講師謝金はありません）

想定参加人数：10～20 名（先輩 OT 役、含む）

最低開催人数：5 名（経験年数ごとの設定なし）

予 算：飲み物・菓子類代として、1 会場 10,000 円 × 3 会場 = 計 30,000 円

タイムスケジュール：

4月 会場・日時・メンバー（先輩OT役）の決定

5～6月 告知・募集期間 / 第1会場打合せ

7月 第1会場開催 / 第2会場打合せ

8月 第2会場開催 / 第3会場打合せ

9月 第3会場開催

その他：複数の会場への参加は『可』とする

→承認。詳細は検討していき、決まり次第メールにて情報共有していく。